

ソーホー会議室での 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時：平成19年4月19日（火） 14：00～15：00

場所：ソーホー会議室（鹿児島市役所 みなと大通り別館6階）

※ 平成19年度のグループ申込型の1回目として開催

平成19年6月
鹿児島市 市民参画推進課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年4月19日（木）14:00～15:00
 場所：ソーホーかごしま 会議室（みなと大通り別館6階）

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	地域福祉会 かごしま 女性	子育て支援のサービスを提供する人 に対しての補助制度はないのか。 例えば、有料の託児サービスの利用 券を配付するなど、託児が必要な方の 部分負担を行う補助を検討してほし い。	子育てを支援している方々に特化し た補助については行っていませんが、 子育てをしている方々に対しては、児 童手当などの給付を行ったり、乳幼児 医療の助成などを行っております。 ご意見は、担当部局に伝えてまいり ます。	健康福祉局	子育てをしている方々への経済的支援としては、現 在、児童手当の支給や乳幼児医療費の助成等を行なっ ております。 また、育児の援助を依頼する「依頼会員」、育児の援 助を行う「提供会員」及びどちらも可能な「両方会員」 で組織するファミリー・サポート・センターを設置し、 会員相互による育児の相互援助活動を実施しています。 「依頼会員」は援助活動の終了時に提供会員に対して 直接報酬を支払うシステムになっており、託児サービ スの利用券を配布するなどの補助については現在考え ていないところでです。
2	子育て支援 「あいこで しょ」 女性	子育て支援を受ける側の心構えが大 事である。 支援を受けることを当たり前と思 うのではなく、感謝の気持ちを持つ ことも必要である。	ご提言のとおり、感謝の気持ちを持 つことは大切なことです。 社会状況の変化から子育てについて 様々な課題が出ております。 そのため、市政の柱に「子育て支 援」を掲げ、様々な課題解決に積極 的に取り組んでおります。 今後の子育て支援のなかで、支援さ れる親についても、感謝の気持ちをも ち、より良好な関係が築けるよう努 めてまいりたいと考えております。	健康福祉局	子育て支援については、「かごしま市すこやか子ども 元気プラン」に基づいて実施しております。この計画 においても保護者が子育てについての第一義的責任を有 するという基本的認識のもとに策定しており、サービス を受ける側が感謝の気持ちを持つことは大切なこと であると考えています。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年4月19日（木）14：00～15：00

場所：ソーホーかごしま 会議室（みなと大通り別館6階）

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	かごしまバスケットボール塾 STARS 男性	バスケットボールを通じて、青少年の教育活動を行っているが、活動場所が少ない。 部活動を辞めた子どもたちはすることがなく、徘徊などの悪影響が懸念される。 天文館地区に一つでも体育施設があればよいと思うが、そのような企画はあるか。	中学・高校生に対しては、市内の各学校において体育館を開放していません。 また以前使用していた、青年会館には体育館がありました。使用できるかについては所管課に確認したいと考えております。 また、合併に伴い旧5町地域の体育館も使用が可能になっております。機会があれば是非活用していただきたいと考えております。	教育委員会	青年会館内には体育室がございますが、バスケットボール等のための使用は、面積等から困難です。学校体育施設や、鹿児島アリーナ（サブアリーナ）等の市民スポーツ課所管施設を、大いにご活用いただきたいと思います。 なお、天文館地区への体育施設の建設については考えていないところです。
4	かごしまバスケットボール塾 STARS 男性	学校の体育館は、夜間19時以降の学生の使用が制限されている。 塾やその他の理由で、部活動ができない子どもたちもいる。 スポーツ保険の加入など、きちんとした活動を行っている団体に対しては、体育館の夜間開放を認めてほしい。	現在、子どもたちのスポーツ活動については、学校教育の中で行い、その後は各地域で取り組むこととしております。 ご提言のように、子どもたちを取り巻く環境も変わってきていることから、あらためて検討してまいります。	教育委員会	学校体育施設における高校生以下の利用については、青少年の健全育成の面から許可していないところですが、今後、各学校施設開放運営協議会や関係課と協議しながら対応してまいりたいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年4月19日（木）14：00～15：00

場所：ソーホーかごしま 会議室（みなと大通り別館6階）

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	かごしまバスケットボール塾 STARS 女性	部活動をやめた後の子どもたちが遊ぶ場が少ない。 他の都市と比べても、バスケットコートのある公園が少ないように感じる。 自転車で簡単に行ける身近な公園で、バスケットボールのできる場所の提供をお願いしたい。	ご意見は、担当部局に伝えてまいります。	建設局	公園整備に伴いバスケットボールのコートやゴールを整備する計画はございませんが、既設の公園について、利用者などからバスケットゴール設置の要望があったときは、 ①公園の近くにお住まいの方々のご理解が得られること ②バスケットボールのプレーを行うために十分な広さがあり、他の公園利用者の安全も確保されること などの条件が満たされることを前提に、個々の公園の実状を踏まえ、検討してまいります。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年4月19日（木）14：00～15：00

場所：ソーホーかごしま 会議室（みなと大通り別館6階）

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	子育て支援 「あいこで しょ」 女性	① 母親が受動的に支援されるだけでなく、自ら積極的に子育てについて学んでいけるような機会や場所の提供をしてほしい。 母親が子育てについて考える意識啓発も必要である。	① 子育ての様々な要望に対応するため、平成19年度から「子育てサポーター養成講座」を開催します。 この講座を終了した方を、地域に配置し、子育てに対する相談等を行う制度を開始する予定です。 また、地域で、子育て支援や育児相談などを行う「にこにこ子育て応援隊支援事業」にも取り組んでまいります。 これらを踏まえ、今後とも、いろいろな支援を行っていきたいと考えております。	健康福祉局	① 平成19年度からの新規事業で市民が自らの経験等を活かして子育てを支援することができるよう、「子育てサポーター」を養成するための講座を開催し、様々な子育て支援を行う人材を育成することとしています。 また、講座の修了生を子育てサポーター（ボランティア）として登録し、子育ての悩み相談や助言及び各種イベント等の託児をするなど、地域の子育て力を向上させ、より子育てしやすい環境を整備することとしていますので、子育て中の方にも講座を受講していただき、ご自分の子育てに役立てていただきたいと思います。
		② 東京などに比べて、公共の子育て支援の場が少ない。 地域福祉館などはあるが、専門の相談員が常駐しているわけではない。 子育てをしている親子が集えるような施設はできないか。	② 現在、中町に「親子つどいの広場（仮称）」を建設予定です。 親子が一緒になって交流し、情報交換を行える場を整備してまいります。 子育てをする人が、不安のないよう支援していくことが大事であると考えております。	健康福祉局	② 平成19年度に主に乳幼児をもつ親とその子どもが気軽に集い、交流を図れる施設として「親子つどいの広場（仮称）」を中町に建設し、平成20年度に供用開始の予定としております。親子つどいの広場には専門の相談員も常駐していますので、気軽にご利用いただきたいと思います。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年4月19日（木）14：00～15：00
 場所：ソーホーかごしま 会議室（みなと大通り別館6階）

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	子育て支援 「あいこで しょ」 女性	初めて子育てをする親にとって、子育ては不安やストレスなども多い。 一方で、一斉に退職する団塊世代などには子育て支援をボランティアでほしい人もたくさんいる。 行政が中心となって、これらの人を集めて管理し、民生委員などと協力できる制度はできないか。	団塊の世代については市民相談センター内に団塊の世代向けの専用相談窓口を開設しております。 また、そうした要望を持っている方を集めて、実施できるかについて検討してみたいと考えております。	健康福祉局 経済局	本年度、団塊世代の就労促進を図るため、団塊世代の就労相談窓口を設置しているほか、就労以外の相談については、市の施策や担当課の案内などを行っているところであります。団塊世代などから子育てに関するボランティアなどの問い合わせがあった場合には、今後とも、担当課と連携して対応してまいりたいと考えております。 また、平成19年度からの新規事業で市民が自らの経験等を活かして子育てを支援することができるよう、「子育てサポーター」を養成するための講座を開催し、様々な子育て支援を行う人材を育成することとしています。 また、講座の修了生を子育てサポーター（ボランティア）として登録し、子育ての悩み相談や助言及び各種イベント等の託児をするなど、地域の子育て力を向上させ、より子育てしやすい環境を整備してまいります。 経験豊かな団塊世代の方々にも是非受講していただき、子育て中の家庭に対して支援をしていただきたいと思います。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年4月19日（木）14：00～15：00
 場所：ソーホーかごしま 会議室（みなと大通り別館6階）

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	子育て支援 「あいこで しょ」 女性	① 託児などのボランティア講座を受けた後の受け入れ先が少ない。 ボランティア講座は市費が使われており、講座を受講した方は半強制的にでもボランティアセンターに登録させてもよいのではないかと。	① ボランティア講座については講座を受講した後が重要だと考えております。 講座の申込時のボランティアの気持ちを大事にしていきたいと考えております。	健康福祉局	① 平成19年度からの新規事業で市民が自らの経験等を活かして子育てを支援することができるよう、「子育てサポーター」を養成するための講座を開催し、様々な子育て支援を行う人材を育成することとしています。 講座の修了生を子育てサポーター（ボランティア）として登録し、子育ての悩み相談や助言及び各種イベント等の託児にも活躍していただきたいと思っております。 また、本市では育児の援助を依頼する依頼会員、育児の援助を行う提供会員及びどちらも可能な両方会員で組織するファミリー・サポート・センターを設置し、会員相互による育児の相互援助活動を実施していますので、提供会員にご登録いただき活躍していただきたいと思っております。
		② 地域福祉館で、ボランティアの相談や情報収集ができない。 ボランティアをしたくても情報が少なく、どこに聞いたらよいか分からない。 ボランティアセンターの支部が各地にあるようなイメージで各地区に情報がほしい。	② 平成18年度から、市内の地域福祉館を中心とした「地域福祉ネットワーク」事業を行っております。 現在、6地区において、モデル事業を行っておりますが、今後、全地域に広げていきたいと考えております。	健康福祉局	② （市長答弁のとおり）

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年4月19日（木）14：00～15：00

場所：ソーホーかごしま 会議室（みなと大通り別館6階）

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	かごしまバスケットボール塾 STARS 男性	① シンガポールに在住していたが、多民族、多宗教のシンガポールで、最も地域の中心となったのは各地区の公民館である。 公民館が地域の課題を確認し、その地域の人で課題の解決を図っていた。 鹿児島市でも、もう少し地区の公民館でその地区の課題についての話がなされ、各地区の代表者などが、市長のところにその話を持ってくるといったシステムが必要である。	① 地域の力は大事であり、地域の課題は地域の中で解決することが重要であると考えております。 そのため、各校区に、校区公民館を整備し、課題解決のための協議を行っております。 今後の地域課題については、さらに地域住民と行政が一緒になって取り組んでいく必要があると考えております。	教育委員会	① 市内の全79校区公民館運営審議会は、審議機関の機能と実施機関の機能を併せ持っており、各校区の課題等については校区公民館運営審議会で審議し、解決に向けての活動を展開していただいているところです。 平成17・18年度には、全校区を対象に実施した「わがまち自慢づくり支援事業」を行い、各校区の特色を生かしたわがまち自慢づくり活動を展開してまいりました。 19年度からは、より多くの校区民に本事業へ参画してもらうため、3年間の継続で「わがまち自慢づくり推進事業」を実施することとしており、各校区の自主的・積極的な取組を支援していきたいと考えております。 また、地域の諸課題を住民自らが共同で解決していくという地域力の再生を目指し、その核となる町内会の活動のあり方や活性化策等を検討するため、年齢や性別、地域性、町内会活動などの経験の有無など、それぞれ立場の異なる方々を委員とする検討委員会を設置し、最終的に、協議・検討結果を市長に報告することとしております。 なお、検討委員会の設置期間は、概ね2年間に予定しているところです。
		② リーダーである行政がもう少しリーダーシップを発揮し、地域公民館を活用しながら、課題解決に取り組んでほしい。 また、そのためには校区公民館等も活用し、そこに権限と予算をつけた上で、その運営をチェックする機能が必要である。	② 9の①に同じ	企画部 教育委員会	② 本市においては、全79校区公民館運営審議会に対し、一律10万円を補助しており、また、委員へは委嘱状を交付しており、これまでに多くの成果をあげているところです。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年4月19日（木）14：00～15：00

場所：ソーホーかごしま 会議室（みなと大通り別館6階）

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	かごしまバスケットボール塾 STARS 男性	<p>学校の部活動以外では、スポーツをする場所が少なく、いじめや不登校などの事情で部活動ができない子どももいる。</p> <p>大人がやっている夜間の活動などは高校生ということで断られたので、高校生でも夜間活動ができるようにしてほしい。</p> <p>また、身近な公園などに、バスケットコートを設置をお願いしたい。</p>	<p>ご提言のように、子どもたちを取り巻く環境も変わってきていることから、あらためて検討してまいります。</p>	建設局 教育委員会	<p>公園整備に伴いバスケットボールのコートやゴールを整備する計画はございませんが、既設の公園について、利用者などからバスケットゴール設置の要望があったときは、</p> <p>①公園の近くにお住まいの方々のご理解が得られること ②バスケットボールのプレーを行うために十分な広さがあり、他の公園利用者の安全も確保されること などの条件が満たされることを前提に、個々の公園の実状を踏まえ、検討してまいります。</p>